



泉都に師走の音

浴場ゴシゴシ、托鉢呼び声

24
歳末を
ゆく

師走に入った別府市では2日、年末恒例の市営温泉の清掃が始まった。街中では托鉢に歩く僧侶の姿が見られた。

同市中央町の不老泉では、市の指定管理を受けた「サンエスマンテナンス」の従業員5人が高圧洗浄機などを使って作業をした。市制100周年記念事業の一環で公募した市民8人も手伝い、デッキブラシで床を隅々まで磨いた。おけなども丁寧に拭き上げ、きれいにした。参加し



デッキブラシで丁寧に床を磨く参加者112日、別府市中央町の不老泉

た同市扇山、会社員座間味由美さん(39)は「公衆浴場の清掃の大変さが分かった。温泉を利用する際はきれいに使いたい」と話した。大掃除は26日まで。13施設が順次休館し、一年の汚れを洗い落として新年を迎える。

市仏教連合会(会長・長山憲隆海門寺住職)は歳末

助け合い托鉢を始めた。初日は黒い法衣を身に着けた僧侶7人が一列に並び、「ご協力をお願いします」と呼びかけながら市中心部や浜脇地区を練り歩いた。6日まで市内各所を巡り、市社会福祉協議会と市共同募金委員会に浄財を寄付する。

(内田杏美、横田啓成)



歳末助け合い托鉢への協力を呼びかける僧侶112日、別府市



〔問①〕 師走（12月）が始まりました。13施設で行う別府市営温泉の大掃除の目的は？

〔問②〕 「托鉢」とは、何ですか。

〔問③〕 12月に決まって行われること、風物詩には何がありますか。考えよう。